

2020年度 都医学研 第1回

都民講座

先着順
締切日必着
(定員 500名)

参加費
無料

聞こえの低下を 防ぐには？ 治すには？

日時 2020年 9/18 (金) 講演時間 14:30~16:00 会場 オンライン開催

※諸事情により、都民講座を中止する場合がございます。

弊所ホームページ (<http://www.igakuken.or.jp/>) をご確認くださいませようお願いします。

聞こえの低下に影響を与える様々な要因

東京都医学総合研究所 難聴プロジェクト プロジェクトリーダー 吉川 欣亮

難聴は新生児1,000人に1人と高い頻度で発症し、遺伝的な素因が大きく関係する病気です。しかし、遺伝的な影響に加え、私たちのまわりの環境に存在する聴力に対する様々な危険因子の影響によって、正常な聴力をもって生まれた人でも音の聞こえが低下します。今回は、私たちを含めた研究グループの実験データからわかってきた聴力の低下に影響を与える様々な要因について話をさせて頂き、聞こえの低下の予防策について考えていきたいと思います。

iPS細胞を使った難聴のクスリ探し

慶應義塾大学 医学部耳鼻咽喉科学教室 専任講師 藤岡 正人

難聴は65歳以上の3割が罹患する超高齢社会・日本のいわば「国民病」であり、認知症発症のリスク因子でもあります。ヒトを含むほ乳類は、聞こえのセンサーである「内耳」で、周囲の音を神経活動に変換していますが、加齢をはじめとした多くの原因でこの内耳の機能は徐々に低下します。我々の研究チームでは、耳の奥深く（脳の真下）で起こっているこの現象を、iPS細胞を使った最新の技術で再現し、注意深く観察し、多くの候補薬をためすことで、聞こえの低下を防ぐクスリを探しています。今回の都民講座では、具体的な例をわかりやすくお話することで、難聴治療の最先端と近未来についてご紹介してまいります。

申込方法

先着順(締切日必着) / 件名に第1回都民講座希望と入力、本文に氏名(ふりがな)、電話番号(日中のご連絡先)を入力。

【申込先】 tomin@igakuken.or.jp

※無効となる場合がございますので、記入漏れのないようご注意ください。

※スマートフォン、携帯電話のメールからお申し込みの場合、受信拒否設定の解除をお願いいたします。

※応募メールを送信してから、3営業日以内に弊所からの受付メールが届かない場合は、恐れ入りますが、迷惑メールフォルダをご確認ください。

迷惑メールフォルダにも不着のようでしたら、電話でのご連絡をお願いいたします。

【参加条件】本イベントはウェブ会議システム「Zoom」を使用します。

事前に「Zoom」の「ミーティングテスト (<https://zoom.us/test>)」ページにて、アプリのダウンロードと音声の送受信が可能であることをご確認ください。

※Zoomが利用できるパソコン等(必須)・ヘッドセット等(任意)は各自でご用意ください。

アプリのダウンロードやパソコン等の設定については弊所ではご案内できませんので、各自でご準備をお願いいたします。

締切日 9月14日(月)必着